

八丈島 水産だより

8月号
2018



アガパンサス



日本各地で猛暑となる日が続いていますが、普段は雨の多い八丈島でも強い日差しが照りつけ、気温以上の暑さを感じる事が多くなっています。さて7月20日から3日間にわたり恒例の「八丈島夏まつり」が開催され、住民のみならず観光客もおお勢訪れました。今年は、ゲストとして演歌歌手の山本譲二さんが来島され、約1時間ほどのステージに会場は大盛り上がりでした。

■ ムロアジ漁が始まりました

8月1日から八丈島のムロアジ漁が解禁されました。くさやの原料として有名ですが、昨年の不漁により在庫がほぼなくなり、今年の水揚げに大きな期待が寄せられています。ムロアジは棒受け網漁業という漁法でとられます。このとき一緒にとれる「トミメ（ナメモンガラ）」は、漁協女性部がフライや切り身に加工作して販売しています。



ムロアジ

トミメ

棒受け網漁業

水揚げ

■ 生産現場研修が開催されました



調理実習

調理の様子

調理の様子

完成です！

8月1日から2日間、都内の栄養教諭・栄養職員が八丈島の「食」について学ぶための生産現場研修が開催されました。今年には8名の参加者が、漁協女性部との調理実習や現場見学を行いました。調理実習ではムロ節ご飯やムロアジメンチカツ、トビウオのすり身汁の作り方を学びました。また漁船に乗ってムロアジ漁の見学や、島で獲れるパッションフルーツやしいたけの生産現場の見学も行われました。